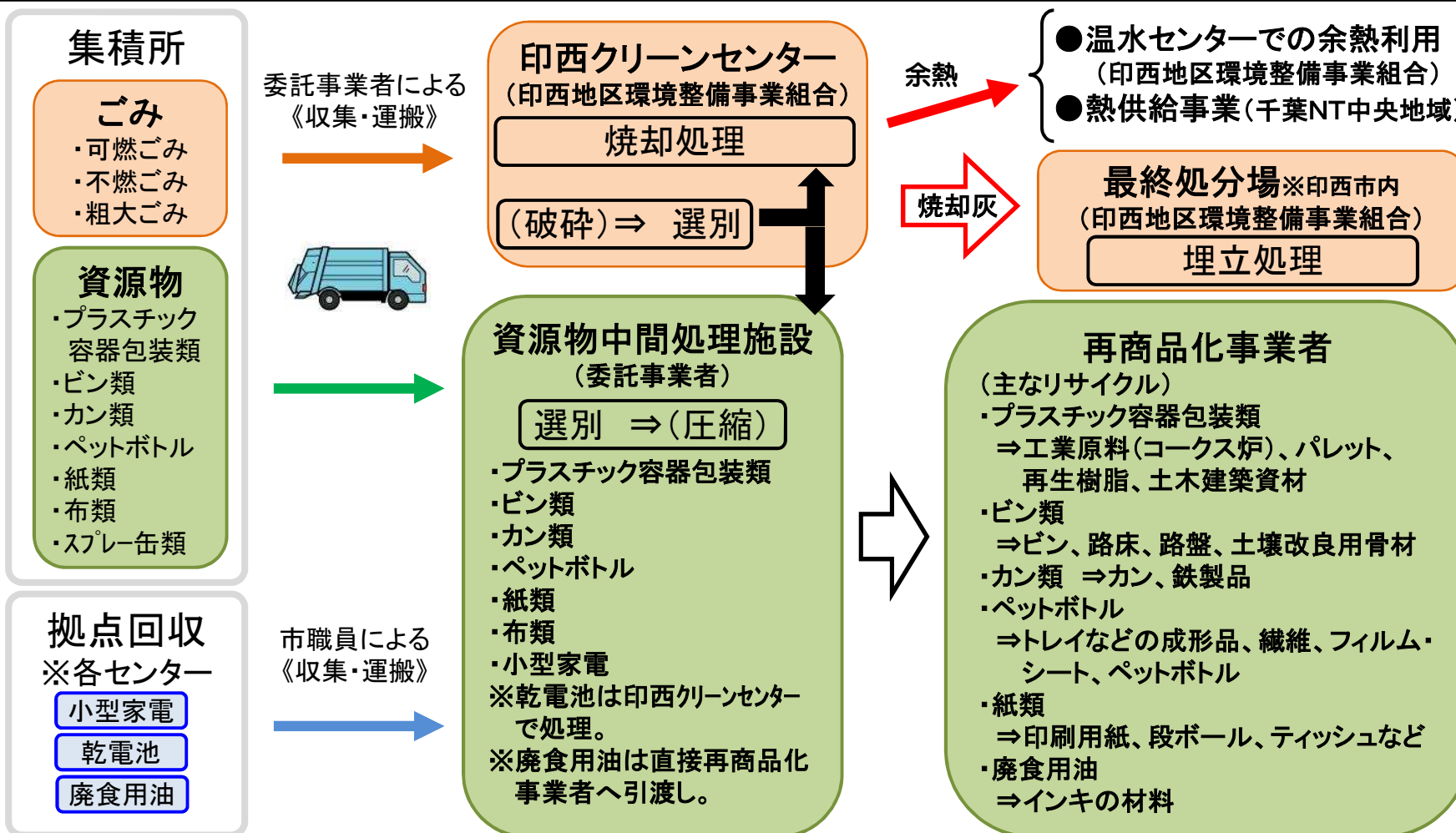


白井市のごみ処理の現状

令和3年12月21日

1. 白井市のごみ処理の流れ(概要)

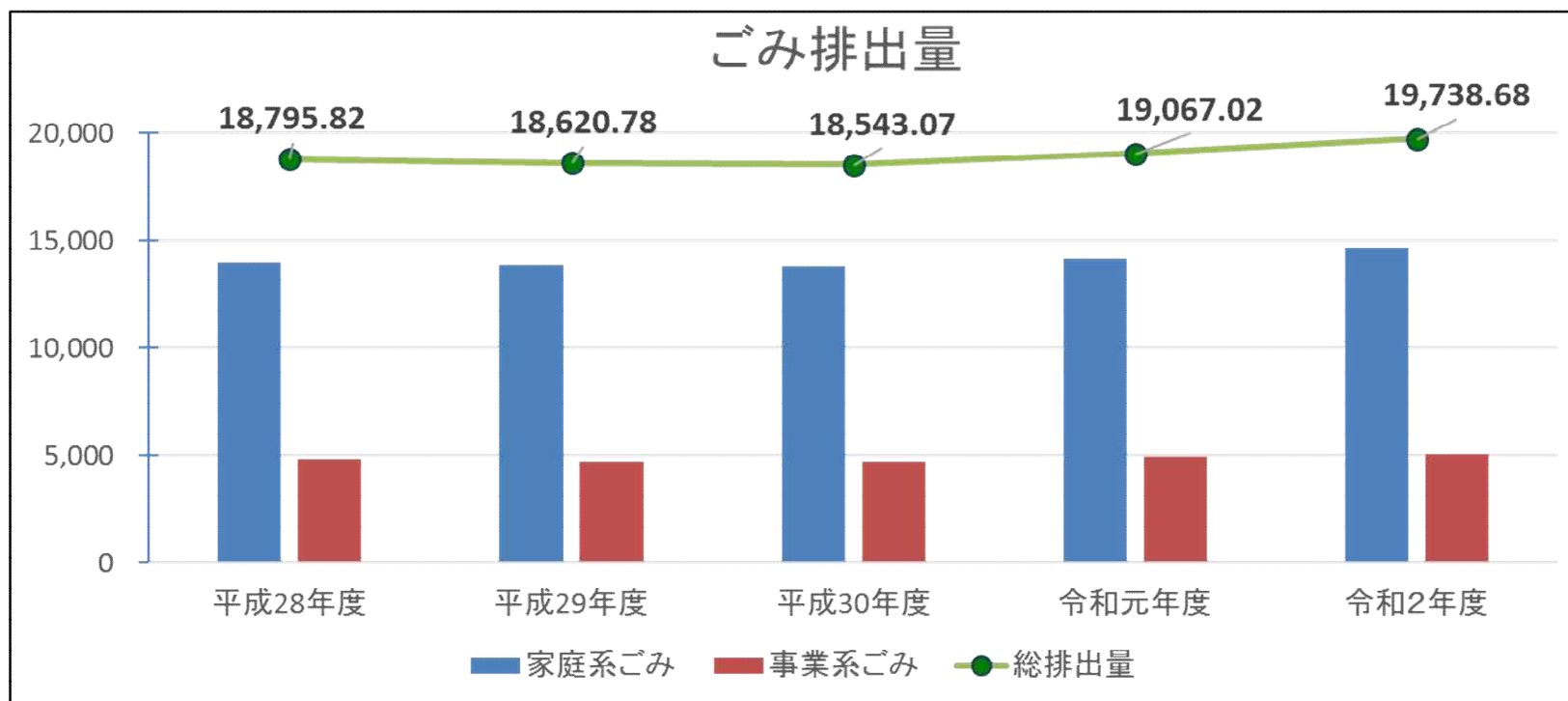
- 白井市のごみ処理全般については、一部の事務を除き、印西市・栄町とで構成する『印西地区環境整備事業組合』(以下、「組合」)で共同処理することとされている。
- 収集されたごみについては、組合が設置・管理する印西クリーンセンターに集められ、ごみの種類に応じて焼却や破碎後、最終的に埋立処分。
- 資源物は、主に組合が委託する事業者により中間処理され、最終的に再商品化事業者へ引渡し。



2. 白井市のごみ総排出量(資源物を含む)の推移 ※過去5年

単位:トン

総排出量	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合
家庭系ごみ	13,976.80	74.36%	13,891.03	74.60%	13,827.93	74.57%	14,132.33	74.12%	14,643.30	74.19%
事業系ごみ	4,819.02	25.64%	4,729.75	25.40%	4,715.14	25.43%	4,934.69	25.88%	5,095.38	25.81%
合計	18,795.82	-	18,620.78	-	18,543.07	-	19,067.02	-	19,738.68	-



総排出量は、平成30年度まで減少傾向であったが令和元年度から増加傾向に転じている。

3. 白井市の家庭から排出されるごみ(家庭系ごみ)の排出量の推移

(家庭系ごみ排出量)

単位:トン

家庭系	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合
ごみ	11,369.18	81.34%	11,383.88	81.95%	11,377.80	82.28%	11,650.01	82.44%	11,879.60	81.13%
可燃	10,724.98	76.73%	10,713.33	77.12%	10,704.57	77.41%	10,931.86	77.35%	11,150.31	76.15%
不燃	315.83	2.26%	323.52	2.33%	329.44	2.38%	340.79	2.41%	400.31	2.73%
粗大	328.37	2.35%	347.03	2.50%	343.79	2.49%	377.36	2.67%	328.98	2.25%
資源物	2,607.62	18.66%	2,507.15	18.05%	2,450.13	17.72%	2,482.32	17.56%	2,763.70	18.87%
合計	13,976.80	—	13,891.03	—	13,827.93	—	14,132.33	—	14,643.30	—

家庭系ごみのうち、資源物としての回収量は概ね18%台で推移している。

(資源物を除く家庭系ごみ排出量)

単位:トン

家庭系	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合
可燃ごみ	10,724.98	94.33%	10,713.33	94.11%	10,704.57	94.08%	10,931.86	93.84%	11,150.31	93.86%
不燃ごみ	315.83	2.78%	323.52	2.84%	329.44	2.90%	340.79	2.93%	400.31	3.37%
粗大ごみ	328.37	2.89%	347.03	3.05%	343.79	3.02%	377.36	3.24%	328.98	2.77%
合計	11,369.18	—	11,383.88	—	11,377.80	—	11,650.01	—	11,879.60	—
前年比	—	—	↗ 14.70t	—	↘ 6.08t	—	↗ 272.21t	—	↗ 229.59t	—

直近5年間では、令和元年度から増加傾向に転じており、増加幅が大きくなっている。

4. 市民1人1日当たりの家庭系ごみ(=排出原単位)の推移

(白井市の市民1人1日当たりの家庭系ごみ排出量)

単位:g/人・日

家庭系ごみ	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人口(人)	63,404	63,772	63,555	63,336	63,012
1人1日当たり 家庭系ごみ量	491.3	489.0	490.4	502.5	516.5
前年比	-	↘ 2.3g	↗ 1.4g	↗ 12.1g	↗ 14.0g

(参考:全国・千葉県の1人1日当たりの家庭系ごみ平均排出量)

単位:g/人・日

家庭系ごみ	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全国平均	507	505	505	513	公表まち
千葉県平均	517	513	507	519	公表まち

全国及び県内との比較においては平均値を下回っているが、目標値からは遠ざかっている。

目標値:406g(2033年度(令和15年度)) ※印西地区ごみ処理基本計画

(参考)国及び千葉県の目標値:440g(2025年度(令和7年度))

※国=第四次循環型社会形成推進基本計画、県=第10次千葉県廃棄物処理計画

5. 白井市の資源物の収集状況

(白井市が分別回収している資源物)

単位:トン

資源物	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合	重量	構成割合
ビン類	372.75	14.29%	365.62	14.58%	349.81	14.28%	346.92	13.98%	391.43	14.16%
カン類	174.25	6.68%	170.95	6.82%	167.06	6.82%	167.40	6.74%	190.52	6.89%
ペットボトル	168.21	6.45%	164.78	6.57%	170.75	6.97%	175.84	7.08%	197.28	7.14%
プラスチック製容器包装	576.60	22.11%	572.54	22.84%	576.07	23.51%	580.02	23.37%	592.59	21.44%
紙類※	1,128.16	43.26%	1,061.53	42.34%	1,015.05	41.43%	1,031.46	41.55%	1,174.14	42.48%
布類	154.78	5.94%	153.03	6.10%	152.34	6.22%	161.40	6.50%	194.76	7.05%
スプレー缶類	11.75	0.45%	12.24	0.49%	12.45	0.51%	13.51	0.54%	13.68	0.49%
小型家電	18.60	0.71%	3.94	0.16%	3.72	0.15%	2.89	0.12%	6.42	0.23%
廃食用油	2.52	0.10%	2.52	0.10%	2.88	0.12%	2.88	0.12%	2.88	0.10%
合計	2,607.62	—	2,507.15	—	2,450.13	—	2,482.32	—	2,763.70	—

※紙類…新聞、ダンボール、紙パック、雑誌、雑がみ

資源物では、「紙類」の収集量が最も多く、次いで、プラスチック製容器包装、ビン類の順に多い。

(参考:市が把握している回収資源物)

単位:トン

資源物	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
集団回収※	606.44	551.72	568.18	531.57	384.20
剪定枝※	1,434.74	1,371.90	1,460.42	1,601.31	1,695.23

※集団回収… 廃棄物の資源化を促進するため、PTAや自治会などの団体において、自ら回収しているもの。
(市が奨励金を交付)

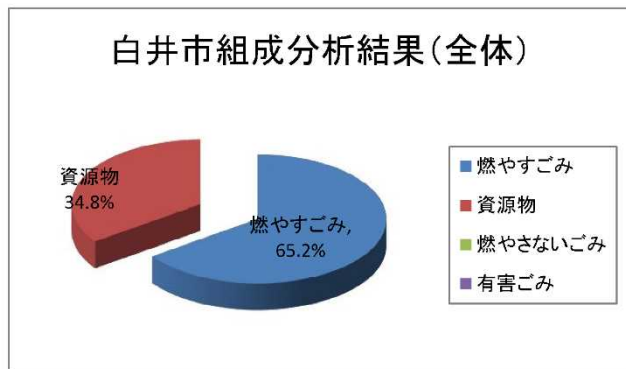
※剪定枝… 市内の公共施設から発生する剪定枝や市内から発生する梨その他果樹剪定枝を市内のバイオマス発電に利用しているもの。(市がバイオマス発電事業者との覚書を締結)

6. 白井市の分別の状況

(印西地区環境整備事業組合 合同組成分析結果 ※令和3年度)

白井市組成分析結果(全体) 単位:kg

燃やすごみ	資源物	燃やさないごみ	有害ごみ	全体
26.33	14.07	0.00	0.00	40.40



《組成分析調査方法等》

調査時期: 令和3年8月

調査方法: 集積所に排出される家庭系燃やすごみのサンプリング抽出による。

調査場所: 市内集積所(住宅地、アパート、農業集落地域別に選定)

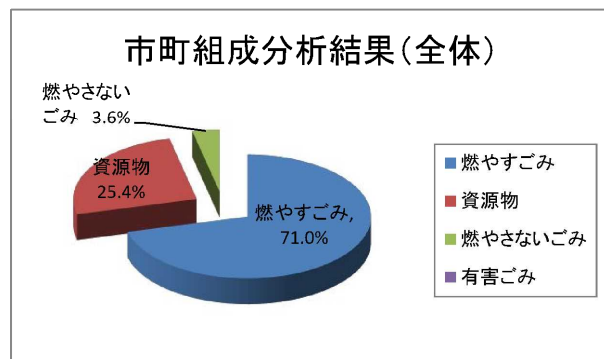
【調査箇所別内訳】

調査箇所	燃やすごみ	資源物
住宅地	63.8%	36.2%
アパート等	60.6%	39.4%
農業集落地域	68.4%	31.6%
合計	65.2%	34.8%

(参考: 組合構成市町との比較)

市町組成分析結果(全体) 単位:kg

燃やすごみ	資源物	燃やさないごみ	有害ごみ	全体
119.61	42.82	5.97	0.00	168.40



白井市では、燃やすごみの中に燃やさないごみの混入はなかったものの、資源物が約35%混入されており、組合構成団体中、最も多い。

【組合構成団体別内訳】

調査箇所	燃やすごみ	燃やさないごみ	資源物
白井市	65.2%	0.0%	34.8%
印西市	74.9%	23.4%	1.8%
栄町	70.5%	21.4%	8.1%
組合全体	71.0%	25.4%	3.5%

7. 白井市のごみ処理経費

ごみ処理に要した経費(印西地区環境整備事業組合への負担金)

年間 **約6億8,100万円** ※令和2年度実績概算

※ごみを処理するための費用として直接的に要した費用のみ

【算入費目】

- ・ごみ収集運搬経費、・ごみ焼却(破碎)経費、・焼却灰埋立経費、・資源物中間処理経費、
- ・焼却施設維持管理費、最終処分場維持管理費

(施設整備費借入金の元利償還金や余熱利用施設の維持管理費、その他人件費等の総務費は除く)

令和2年度実績 ※概算

年間ごみ量(資源物・事業系を含む)	約19,739トン
ごみ処理経費	約6億8,100万円
1kg当たり処理経費	約34.5円
市民1人当たりの年間ごみ処理経費 (令和2年度末人口:63,012人)	約10,800円

※施設整備費借入金の元利償還金や余熱利用施設の維持管理費、その他人件費等の総務費は除く)

8. 減量化・資源化に向けた白井市の取り組み

印西地区ごみ処理基本計画(印西地区環境整備事業組合策定)

実現のための基本的かつ具体的な指針

白井市ごみ減量化・資源化基本方針(行動ガイドライン)

減量目標を達成するために、市民が「日常生活の中で主体的に実施することが望まれる取り組み」を示したもの。

《重要項目及び優先的な取り組み》

- ①生ごみの水切り
- ②資源物の分別徹底
- ③マイバッグ・マイボトルの使用
- ④物品・食材等の購入は必要最小限に
- ⑤食品ロスの削減

《その他の取組》

・資源回収運動団体への参加、生ごみ処理容器等の活用、詰替用品等の購入・使用等など

①白井市の主な取り組み

広報・HP等での各種啓発

ごみ減量講座の開催

生ごみ堆肥化講座の開催

分別アプリの利用促進

生活環境指導員の配置

資源回収運動奨励金の交付

生ごみ堆肥化容器等購入費の助成

資源物の分別収集及び拠点回収

剪定枝のバイオマス発電利用

粗大ごみの有料化

②今後の取り組み

●家庭系ごみの処理手数料の導入(有料化)の検討

(これまでの検討内容)

○白井市長から廃棄物減量等推進審議会に諮問(令和元年5月)

さらなるごみの排出抑制や市民意識の向上、排出量に応じた処理手数料を徴収することによる市民負担の公平化、ごみ量削減による次期施設の建設費用の節減のため、家庭系ごみの処理手数料の導入(有料化)することについて。

→廃棄物減量等推進審議会からの答申(令和3年3月)

『さらなるごみの減量化・資源化の推進、受益者負担の公平性の観点から導入すべきである』

(付帯意見)

- ・(他自治体の取り組みから)紙おむつを使用する家庭に対する支援
- ・財政的な理由ではなく、ごみの減量化・資源化のために有料化することを正しく理解してもらうことの必要性
- ・2050年のカーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現に向けて取り組む
- ・導入後においても普及啓発に努め市民意識を高めることの必要性
- ・高齢者支援の検討

●新たな分別収集品目の検討(プラスチック使用製品廃棄物の分別収集)

本年6月に成立し、令和4年4月施行が予定されている「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」により、これまでの容器包装類だけでなく製品プラスチックについても分別の対象として収集する仕組みが設けられることから、あらたな分別品目としての収集又は再資源化の可能性について、印西地区環境整備事業組合と共に検討を予定。

→現在は、国において詳細な基準や費用負担方法などが検討されている。